

第5学年 英語科学習指導案

日 時：令和5年9月21日(木)
 場 所：荒川区立第四峡田小学校
 対 象：第5学年1組25名
 授業者：HRT 早川 大介
 AD 大洞 真由子
 NEA Aliw Murakami

研究主題
自分の考えや想いを表現しようとする児童の育成
～『本当に伝えたいこと』を豊かに表現する言語活動を通して～

1 単元名 一日の過ごし方を考えよう「This is my day」(Lesson Plan Unit4)

2 単元の目標

- (1) 活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に伝え合いたい文を書き写すことができる。
- (2) 自分たちの生活について伝える目的や場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして伝え合うことができる。
- (3) 他者に配慮しながら、主体的に一日の生活について話そうとする。

3 関連する荒川区小学校英語科指導指針における領域別目標

話すこと (発表)	ア 日常的な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ア 時刻・日課・頻度の語句や日課・習慣を表す表現について理解している。 イ 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現について聞きとる技能を身に付けている。	ア 友達の話す日課について知るために時刻・習慣やその頻度について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	ア 友達の話す日課について知るために時刻・習慣やその頻度について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
(発表) 話すこと	ア 時刻・日課・頻度の語句や日課・習慣を表す表現について理解している。 イ 時刻・日課・頻度の語句や日課・習慣を表す表現について発表する技能を身に付けている。	ア 自分の好きなキャラクターならどんな一日を過ごすかについて、簡単な語句や表現を用いて日課や習慣について発表している。	ア 自分の好きなキャラクターならどんな一日を過ごすかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて日課や習慣について、発表しようとしている。

書くこと	ア 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現について理解している。 イ 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現について書く技能を身に付けている。	ア 自分の好きなキャラクターならどんな一日を過ごすかを伝えるために、日課や習慣について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。	ア 自分の好きなキャラクターならどんな一日を過ごすかを伝えるために、日課や習慣について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。
------	--	--	---

5 指導観

(1) 単元観

一日の生活に関する表現を取り扱い、自分の生活の流れを説明したり、友達的生活について尋ねたりする単元である。これらの表現は、定型表現として何度も活用させながら、表現に慣れ親しませることが大切である。友達と自分の生活のリズムが異なることに気付き、自分自身の生活を見直すきっかけにつなげていきたい。

なお、単元の後半では、それまでに学習した知識や技能を用いて、「自分の好きなキャラクターなら、どんな一日を過ごしているか。」について考え、友達に発表する活動を取り入れる。そうすることで、児童が意欲的に学習に取り組み、主体的に学んだことを使って、他者に伝えようとする力を育むことができると考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、英語の語句を覚えたり、覚えた表現を使って他の児童とやり取りをしたりする学習を楽しんで行うことが多い。特にこれまでは、他の児童とのやり取りをする学習で、自分から進んで声を掛け、関わり合いながら学習する場面が多く見られた。意欲は高いものの、どのような語句を使って、どのように表現するかがわからず、自分の伝えたいことを上手く伝えられない児童もいる。本単元で扱う言語事項や会話の表現について、十分に慣れ親しむ時間を確保し、会話や発表を自信をもって行うことができるようにしたい。

(3) 教材観

本単元は、1日の生活について聞いたり話したりする活動を通して、日課を表す様々な表現とともに、always, usually などの頻度を表す語を学び、最後に自分の日課について発表するという内容である。普段の生活の中で、友達が何時に起きて何時に寝るかなどについて聞く機会はあまりないと思われることや、5年生のこの時期の児童は、他教科でも1日の生活について考える機会が多くあることから、友達や先生の1日の生活に関心をもって話を聞いたり、積極的に自分のことを話したりすることができる教材だと考えられる。

【主な言語材料】 日課や頻度を尋ねたり答えたりする表現

What time do you (get up)? I (get up) at (six in the morning).

What time is it in your city? It's (six o'clock in the morning).

(I always)(Wash the dishes after dinner).

語彙：日課/習慣/頻度(always, usually, sometimes, never)

6 研究主題に迫る手立て

(1) 『本当に伝えたいこと』を豊かに伝える言語活動の工夫

児童にとって「本当に伝えたいこと」とは、「伝えることそのものに興味があり、相手に聞いてほしい、分かってほしいと強く感じること」であると考えます。すなわち、授業で扱う教材は、

①児童が伝える内容に興味がある。

②意欲をもって伝えることができるようなもの、である必要がある。

本授業では、単元の後半（第5時～7時）で自分の好きなキャラクターを決め、そのキャラクターになりきって、どんな一日を過ごしているかを発表する活動を取り入れる。「自分自身の一日」ではなく、「自分の好きなキャラクターの一日」について話すことで、高学年になり、他の児童の前で自分のことについて話すことに抵抗のある児童も、一日の生活に関する表現を調べたり、話したりしようとする意欲が高まると考えた。また、発表を聞く側の児童も、どの児童が誰になりきって発表するのか、楽しみながら意欲的に内容を聞きとることができるように考えた。

(2) コミュニケーションを豊かにする工夫

・言語コミュニケーションの工夫

単元の学習において、児童同士が会話表現を使って関わるような、アウトプットの機会を必ず取り入れている。これまでの学習では、「なるべく多くの人と話そう。」と投げ掛けたり、「ワークシートになるべく多くの人からサインを集めよう。」などと投げ掛けたりすることで、意欲的に他の児童に関わりながら学習することができた。本単元では、第3時において「起きる時間が一番早い人を見つけよう。」というインタビュー活動に取り組む。この単元を設定することにより、児童はなるべく多くの人と関わり、意欲的にコミュニケーションを図ろうとすると考えられる。この意欲的なコミュニケーションの経験をもとに、4時以降で行う、「自分の好きなキャラクターの一日を伝える。」という活動に取り組む姿勢の素地とする。

・非言語コミュニケーションの工夫

児童には、発表を聞く際に発表者の顔を見て、相槌を打ちながら聞いたり、発表する際により相手に伝わるように、ジェスチャーを交えながら話したりするよう促してきた。そのような表現を身に付けられるように、日常的に行っているペア・トークやグループ・トークの際に確認した。ポイントをまとめた掲示物も作成し、児童がいつでも確認できるように掲示した。

(3) 教師の語り掛け、英語での指示の工夫について

本時では、「好きなキャラクターの一日を考える」という活動において、まず日本語で自分の表現したいことを考え、英語でどのように表現するのか計画を立てる。その後、翻訳アプリを用いて、自分が表現したかった日本語は、英語ではどのように表現するのかを知り、その文を声に出して読むことで、伝えたいことを英語で表現することが体験できるような機会を設けることにした。

また、本単元では、表現する内容が多岐にわたることから、授業中は、基本的には英語で説明・指示を行うが、必要に応じて、日本語も用いて指示したり説明したりする。

(4) AD,NEA との連携について

AD,NEA との連携として、本授業では、指導案の展開例の部分に NEA と AD の役割を明確に示すこととした。そうすることで、AD,NEA が「今日の授業ではどのタイミングで、何をするのか」が確認しやすくなり、打合せや振り返りの時間を短くすることができると考えた。本時では、関連する単語を声に出して練習する際には NEA にデモンストレーションしてもらったり、グループ発表や好きなキャラクターの一日を発表する際には6グループ中2グループずつ分担して、児童の発表の手助けをしてもらったりする。

7 単元計画 (全7時間扱い 本時第7時)

時	◆目標 ○主な学習内容・活動	※留意点 □評価
1	<p>◆世界の子供たちの様子を基に、一日の行動と時刻の表現を知る。</p> <p>○Activity 1 「Let's Watch (p.46~47)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面を見て、どの国で何時に何をしているのか等を予想する。 ・動画を視聴し、話の内容を推測する。 ・聞き取ったこと(名前、国、都市名、行動、時刻等)や推測したことを発表する。 ・バンクーバーとサンパウロの時刻を教科書に記入する。(動画5・6) <p>○Activity 2 「Let's Listen 1 (p.46)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の3つの都市の時刻・天気・曜日について聞き、必要な情報を聞き取る。 <p>○Activity 3 「Let's Think 1 (p.47)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の一日の過ごし方を振り返る。 	<p>※4年 Unit10 の学習を想起させ、絵カードで確認する。</p> <p>※動画1を見たところで、聞き取った内容を発表し、全体で共有する。</p> <p>※動画2以降も同様に行い、話の内容を児童の発言を基に、整理する。</p> <p>※紙面右端の2ヶ国が土曜日、他の4ヶ国が日曜日に分かれているところに注目し、時差について触れてもよい。</p> <p>※全回目は都市名に注目して聞かせ、地図で場所を確認する。</p> <p>※2回目以降は、都市の時刻・天気・曜日に注目して聞くよう伝える。</p>
2	<p>◆家での日課や習慣の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○Activity 1 「Let's Listen 2 (p.49)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き、Dan と Miyu が日曜日に行っていることについて聞き取り、順番を教科書に記入する。 <p>○Activity 2 「ビンゴゲーム」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①4名程度の小グループになる。 ②日課のミニカードをもらい、3×3になるように並べる。 ③指導者が言うカードが出たら裏返す。(慣れてきたら児童が言う。) 	<p>※前時の確認と Let's Listen 2 で出てくる表現も追加して確認する。</p> <p>※登場人物一人ずつ、複数回聞かせる。</p> <p>※Oh, you~.の表現を入れ、相手の話に反応することを意識できるようにする。</p>

3	◆起きる時刻をインタビューし合う活動をとおして、早起きの人を探ることができる。	
	<p>○Activity 1 「Let's Listen 3 (p.50)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、適切な組み合わせになるように線を結ぶ。 ・解答以外の情報で聞き取った内容を発表する。 <p>○Activity 2 「インタビュー (p.50)」</p> <p>「クラスで一番早起きの人をさがそう」</p>	<p>※解答以外の情報でも分かったことがあれば発表させるとよい。</p> <p>□【思・判・表】(聞くこと) 世界の子ども達や友達の日課や一日の過ごし方を聞き、具体的な情報を理解している。(ワークシート)</p> <p>※指導者がモデルを提示する。または、対話見本例 (p.50) 見せる。</p> <p>□【知・技】(話すこと)日課について尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。(行動観察)</p>
4	頻度を表す言葉を使いながら、日課や習慣の言い方に慣れ親しむ。	
	<p>○Activity 1 「Let's Listen 4 (p.51)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふみなが習慣にしていることについて予想する。 ・音声を聞き、習慣と頻度について聞き取り、□に番号を書く。 ・解答以外の情報で聞き取った内容を発表する。 <p>○Activity 2 「自分の日課や習慣を発表する。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頻度を表す表現を使い、自分ならどんなことが言えそうかを考え、ワークシートになぞり書きをする。 ・グループで発表する 	<p>※児童の実態に応じて、繰り返し聞かせ、聞き取れたことを確認し、少しずつ解答に近付けるようにする。</p> <p>※解答以外の情報でも分かったことがあれば発表させるとよい。また、発表したことを板書する。</p> <p>※児童の実態に応じて、写し書きをしてよい。</p> <p>□【知・技】(話すこと)頻度の表し方を理解し、家での日課や習慣を話す技能を身に付けている。(行動観察)</p>
5	自分の好きなキャラクターだったらどのように過ごすか考える。	
	<p>○Activity 1 「Let's Listen 5(p.52)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ely と Tom が自由な一日に何をしたいのか、予想する。 ・音声を聞き、起きる時刻とやりたいことについて聞き取って記入し、線で結ぶ。 	<p>※発表見本は指導者のスピーチでもよい。</p> <p>※show and tell(絵や写真を見せながらのスピーチ)にしてもよい。</p>

	<p>○Activity 2 「Final Activity (p.53)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表見本の動画 (p.53) を視聴し、自分の好きなキャラクターだったら、どのように過ごすかを考える。 ・自分の考えをワークシート(ワークシート編 p.65)に書く。(考えが決まった児童は声に出して言う。) 	<p>※①②③⑤は必ず発表する。④は、学んできた様々な動詞を使って自分の伝えたいことを考える。</p> <p>※In the morning 等の時間を表す表現も使えるとよいことを伝える。</p> <p>□【知・技】(書くこと)一日の過ごし方について、時刻や自分のしたいことを表す表現を書いている。(ワークシート)</p>
6	自分の好きなキャラクターだったらどのように過ごすかを考え、相手に分かりやすいように伝える。	
	<p>○Activity 1 「発表原稿作り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表見本の動画 (p.53) を視聴したり指導者のスピーチを聞いたりして発表のイメージをもつ。 ・発表するとき気を付けること、聞くときに気を付けることを確認する。 ・発表原稿を仕上げる。 <p>○Activity 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで発表を聞き合い、良い点や改善点を伝え合う。 ・自分のスピーチを修正する。 	<p>※前単元の発表で確認した話し手と聞き手のポイントを想起させ、意識できるようにする。</p> <p>※児童の実態に応じて、4線に書き写すワークシートを使用してもよい。</p> <p>□【思・判・表】(話すこと(発表))一日について友達に伝えるために、簡単な語句や基本表現を用いて話している。(発表)</p> <p>□【主】(話すこと)一日について友達に伝えるために、伝わるように工夫しながら話そうとしている。(ワークシート・行動観察)</p>
7	自分の好きなキャラクターだったらどのように過ごすかを考え、相手に分かりやすいように伝える。	
	<p>○Activity 1 「「〇〇の一日」の発表会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表見本の動画 (p.53) を視聴したり指導者のスピーチを聞いたりして自分の発表内容を確認する。 ・自分が考えた一日について発表する。 ・友達の発表を聞き、賞賛したり、質問したりして、反応の言葉を返す。 	<p>※意見を聞きながら相手に分かりやすく伝えるための話し方や、相手が安心して嬉しくなる聞き方を確認する。</p> <p>※中間指導で、特に工夫している発表者や聞き手を紹介する。</p>

	<p>○Activity 2 「発表会の振り返り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表、聞き方、友達の良かったところを振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> □【思・判・表】(話すこと(発表)) 一日について友達に伝えるために、簡単な語句や基本表現を用いて話している。(発表) □【主】(話すこと(発表))一日について友達に伝えるために、伝わるように工夫しながら話そうとしている。(ワークシート・行動観察)
--	--	---

8 評価規準にもとづいた具体的な評価計画

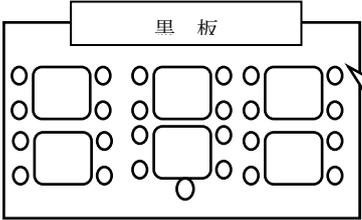
時	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。		
2	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。		
3	日課について尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。 〔話すこと〕(行動観察)	世界の子ども達や友達の日課や一日の過ごし方を聞き、具体的な情報を理解している。〔聞くこと〕(ワークシート)	
4	頻度の表し方を理解し、家での日課や習慣を話す技能を身に付けている。 〔話すこと〕(行動観察)		
5	自分の自由な一日について、時刻や自分のしたいことを表す表現を書いている。〔書くこと〕(ワークシート)		
6		一日について友達に伝えるために、簡単な語句や基本表現を用いて話している。〔話すこと(発表)〕(発表)	一日について友達に伝えるために、伝わるように工夫しながら話そうとしている。〔話すこと(発表)〕(ワークシート・行動観察)
7 (本時)		一日について友達に伝えるために、簡単な語句や基本表現を用いて話している。〔話すこと(発表)〕(発表)	一日について友達に伝えるために、伝わるように工夫しながら話そうとしている。〔話すこと(発表)〕(ワークシート・行動観察)

9 本時 (7/7)

(1) 目標

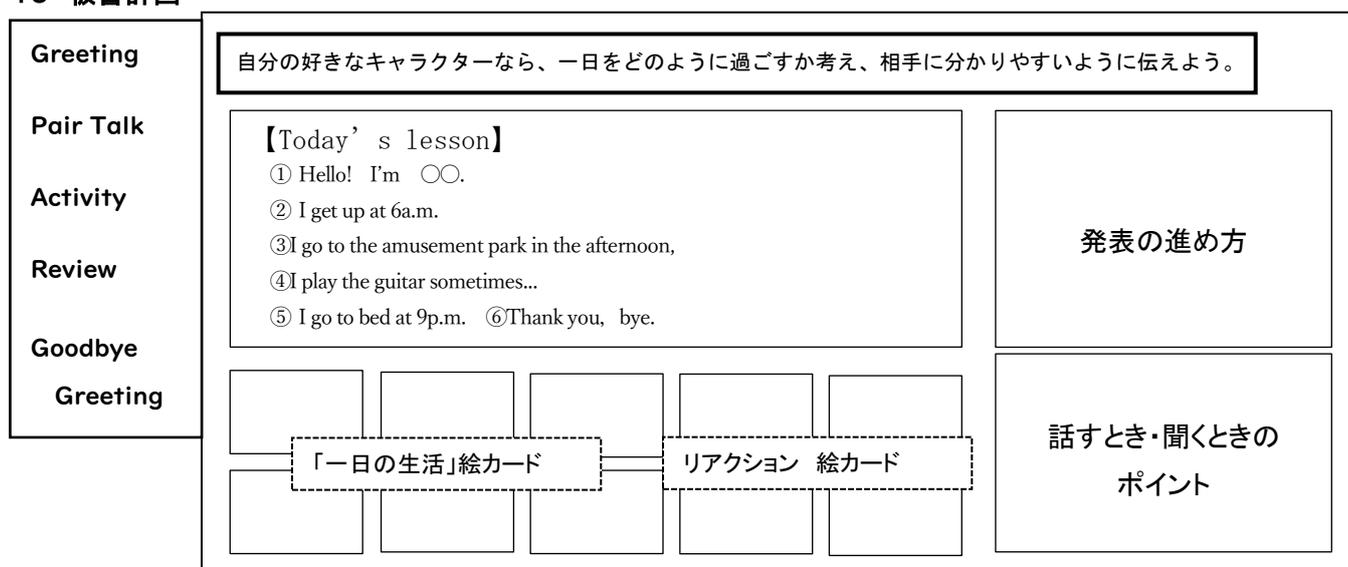
自分の好きなキャラクターなら、一日をどのように過ごすか考え、相手に分かりやすいように伝える。

(2) 展開

学習の流れ	主な学習活動	主な英語表現・語句	※留意点□評価	☆NEA ★AD
Greeting	○英語リーダーが挨拶をする。	Today's English leaders, please, come to the front.		☆☆児童の呼びかけに応える。
Chants	○アルファベット・チャンツ	Let's Chants. Are you ready?		☆児童と一緒に歌う。 ★児童が歌う様子を観察する。
Songs	○ゲット アップ ソング	Let's sing. Are you ready?	※ジェスチャーをしながら歌う	
Pair Talk	○ペアトーク	Let's talk. Are you ready?		☆☆児童の会話の様子を観察、助言等行う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> A: What time do you get up, today? B: six o'clock. A:(リアクション). </div>				
Today's Lesson	○今日のめあてを知る。	Today's goal is...		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分の好きなキャラクターなら、どんな1日を過ごすか、相手に分かりやすいように発表しよう。 </div>				
Activity	<p>○「自分の好きなキャラクターの一日」の発表会</p> <p>(1) HRT・NEA・ADによるデモンストレーションを聞いて、発表の仕方を確認する。また、自分の発表内容を確認する。</p> <p>(2) 自分が考えた好きなキャラクターの一日について発表する。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; margin: 0 auto; padding: 2px;">里 板</div>  </div> <p>(3) 友達の発表を聞き、リアクションしたり、質問したりして、反応の言葉を返す。</p>	<p>例</p> <p>① Hello! I'm ○○.</p> <p>② I get up at 6a.m.</p> <p>③ I have lunch at noon. I go to the amusement park in the afternoon, And I play the guitar.</p> <p>⑤ I go to bed at 9p.m.</p> <p>⑥ Thank you.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1)最初の4~5人グループで発表し合う。</p> <p>(2)グループ毎に全員分評価する。</p> <p>(3)トランプでグループ分けし、2回目を行う。</p> </div>	<p>※話し手・聞き手のポイントを確認する。</p> <p>※よくできた児童を紹介し、評価ボードで何がよかったのかを確認する。</p> <p>※一人一台タブレットを用意し、発表の様子を撮影する。</p>	<p>☆☆モデルを提示する。(リアクションの取り方についても示す。)</p> <p>☆【1号車】児童の発表の様子を観察し、必要に応じて助言する。</p> <p>★【3号車】児童の発表の様子を観察し、必要に応じて助言する。</p> <p>☆☆1回目の発表の際、相手に伝わるように工夫していた児童をチェックしておく。</p>
			<p>【考】一日について友達に伝えるために、簡単な語句や基本表現を用いて話している。[話すこと(発表)](発表)</p>	
			<p>【主】一日について友達に伝えるために、伝わるように工夫しながら話そうとしている。[話すこと(発表)](ワークシート・行動観察)(発表)</p>	

Reflection	○振り返りカードを書く。	How was today's lesson? Please write your comment on your card.		
Goodbye Greetings	○挨拶をする。	That's all for today.		

10 板書計画



11 協議会の記録

○指導講評 聖学院大学人文学部欧米文化学科教授 東 仁美 先生

・「本当に伝えたいこと」について

研究主題は自分の考えや想いを表現しようとする児童の育成～本当に伝えたいことを豊かに表現する言語活動を通して～で、本当に伝えたいことを毎回考えている。4年生くらいならいいが、話したことに対して「えーっ。」と言われてたりするので、5年生くらいになると自分のプライベートを友達に伝えるのが恥ずかしくなってくる。「なりきり」はやりやすく、設定としては面白い。フレンドリーでクラスの雰囲気もよく学級経営がよくできていると思う。

・発表について

一番気になったのはカタカナ、フリガナについて。8割の児童にフリガナがあった。(早川先生の方で記入) 日直で挨拶が流暢な児童もフリガナがふってあった。真ん中の二文が既習事項ではない。五年生の言語能力では難しい。押しキャラの一日で設定はよかった。どこまで言いたいことを言わせるとよいか。例えば行きたい国、本当に行きたい国なら写真や国旗を示すなどで伝えようとするだろう。今回、今まで全く出会ったことのない表現を使おうとした。本当に言いたいことは国語でなら言えるが英語では難しい。国語なら2、3年でできることも英語では中学生にならないと難しい。ぎりぎりまで言いたいことを言わせるが、相手にそこそこ伝わる、本人が自信をもって伝えることができるとしたら落としどころはどうか考えるとよい。

(例)「アンパンマンの一日を紹介しよう」

I get up at 3:00.

I brush my hair.

No, I don't. I don't have hair.

I make bread with Jam ojisan.

I fly in the sky.

I give my face to hungry children.

Oh, you are hungry.

Here you are. (顔をちぎってあげる)

I go to bed at 7:00.

このあたりではどうだろうか。

履修事項を使い、言える内容で作ったりすることがよい。本当に言いたいことではないかもしれないが、言いたいことではある。自分のオリジナルストーリーになる。読むことを推測しながら読んでるので書かなくても何とか読もうとする力も5年生から付けていきたい。フリガナがなくても何とか読めるような表現にとどめる方が話す側が楽しくコミュニケーションが取れると思う。

・単元目標の設定について

5年生のレッスンプラン、単元目標 One World Smiles 5などを参照するとよい。最初に目的が入っている。

・学習指導案について

荒川区の指導指針では聞く、読む、話すの順番になっている。最初は聞くことを入れたほうがよい。書くことは評価規準に挙げていなければ書かなくてよい。この単元は話すことの発表のみが評価規準に挙げられている。評価規準の書き方で知識と技能を分けて書くのがよい。研究主題に迫る手立て「コミュニケーションを豊かにする工夫」もよい。最終の授業に向かう前に入れておくとよい。

・評価について

ADから全員見るのは難しいという意見があったが、学期で見ればよいので、今回何人、次で何人と分けてもよい。

12 成果と課題

【成果】

- ・自分の好きなキャラクターの1日を紹介するという主題設定が児童の意欲的な活動につながった。
- ・発表の際に誰とでも関わろうとする児童が多く、ペア・トークなど意図的に多くの人と関わる活動が有効的だった。

【課題】

- ・本当に伝えたいことを強く意識しすぎたために、未習の言語材料を用いての発表になった。そのため原稿を用意したり、自信がなさそうに発表したりする児童がいた。
- ・教師の指示について、英語を聞くことに慣れさせたいが、伝わらないと児童が行動できないため、英語と日本語のバランスが難しかった。